

年度	R3
シートNo.	46
所属	保健福祉部 健康推進課 地域医療係
シート名	感染症予防

業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

第五次 総合計画	基本目的	Ⅲ 心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち
	施策目的 (上位目的)	09 地域全体で健康づくりに取り組むまちになる
	施策の方向	Ⅲ-09 医師会など関係機関と連携し、疾病予防のための正しい知識や予防接種の必要性の普及啓発を図り、感染症などの疾病の予防やまん延の防止に努めます。

人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規 2.0	会計年度任用 0.0	再任用 0.0
	すべてのシートの合算	26.0	13.4	1.0

款	項	目	事業名	予算額
4	1	4	感染症予防 事業	8,245 千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
合計				8,245 千円

任 務 目 的	指 標	過去の実績					目 標	達 成	備 考
		H28	H29	H30	R元	R2			
疾病予防の正しい知識を普及する		-	-	-	-	-	-	-	R2年度は、新型コロナウイルス感染症について、国や県からの情報を速やかに情報提供を行うことが出来た。

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目 標	達 成	備 考
01	疾病を予防する為の支援									
0101	疾病の予防法等の情報提供	感染予防広報掲載回数	5	4	6	9	10	→	○	令和元・2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、広報掲載回数が多くなった。
010101	予測される感染症の予防対策情報を広報紙・ホームページで周知									
010102	結核予防啓蒙の為に複十字シール募金の実施									
0102	結核予防の知識の普及	結核レントゲン検診受診者数	5,832	5,738	5,679	5,845	3,903	↑	×	新型コロナウイルス感染症の流行で、受診控えが多く減少してしまったと思われる。
010201	広報紙・ホームページで結核情報を周知									
010202	結核レントゲン検診の実施									
010203	結核レントゲン検診精密検査対象者への受診勧奨の実施									
010204	結核レントゲン検診精密検査未実施者への受診勧奨の実施									
0103	関係機関と感染症予防事業の連携を図る	民生委員への協力依頼回数	12	12	12	12	12	→	○	
010301	環境保健委員へ結核健診・災害時消毒の協力依頼									
010302	民生児童委員へインフルエンザ予防等の協力依頼									
事業名	感染症予防事業	年度別決算・予算額(千円)	5,557	5,472	5,482	6,059	30,683	8,245		

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括

◇厚生労働省や群馬県衛生環境研究所等からの感染症情報を速やかに市民に情報提供できた。

◇結核レントゲン検診の受診者数について、増加につながるよう他の検診業務と連携して事業を進めるも、受診者数は毎年変動している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、大きく減少した。

◇新型インフルエンザ等の発生を想定し、防護服やマスク、消毒液の備蓄に努めていたが、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、品薄で購入が困難な時期もあった。しかし、令和2年夏以降は、市場も安定しある程度まとまった購入も可能となり、一定数の備蓄もできた。また、マスク、消毒液、ハンドソープなど、緊急時に優先して購入できるよう、事業者と協定を締結した。



総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等

◇新型感染症に備え、これまで以上に備蓄数を増やすために購入数を増やすことはもちろん、緊急時に優先して購入ができるよう、必要に応じ事業者との協定締結を行う。

◇市民や事業者にも、マスク・消毒液など普段からの備蓄を呼びかける。

◇コロナ禍で新たに追加された感染予防を今後も継続して啓発を行う。

年度	R3
シートNo.	47
シート名	救急医療

業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

第五次 総合計画	基本目的	Ⅲ 心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち
	施策目的 (上位目的)	10 適切な医療を受けることができるまちになる
	施策の方向	Ⅲ-10 休日や夜間における医療を安心して受けられるよう、公立館林厚生病院と館林市邑楽郡医師会が相互に連携を図りながら診療体制を充実します。 Ⅲ-10 緊急の事故や病気の時に速やかで適切に対応するため、第一次救急医療の市内医療機関と第二次救急医療の公立館林厚生病院の機能分担を明確にするとともに、公立館林厚生病院を中心とした救急医療体制を充実します。また、病院間や自治体間などにおける情報交換を進めながら、市や県境を越えた医療機関などとの連携や、広域での救急医療体制の構築を図るとともに、県相互の連携が図れるよう協力します。 Ⅲ-10 市民が必要とする医療を、確実かつ持続的、効率的に提供するため、地方の医師不足や偏在の解消、診療科ごとにバランスのとれた医師育成の方策の確立など、抜本的な対策を講ずるよう、国に対し働きかけます。

人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規	会計年度任用	再任用
	すべてのシートの合算	2.0	4.0	0.0

款	項	目	事業名	予算額
4	1	2	地域医療対策事業	11,779 千円
4	1	2	邑楽館林医療事務組合負担金	851,206 千円
4	1	7	夜間急病診療所管理運営事業	26,196 千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
合計				889,181 千円

任務目的	指標	過去の実績					目標	達成	備考
		H28	H29	H30	R元	R2			
適正受診を推進し、市民一人ひとりがかかりつけ医を持つ	かかりつけ医を持つ市民の割合	—	—	—	69.9	—	↑	○	H26年度の66.7%から3.2%増加することが出来た。
救急時に受診することができる	—	—	—	—	—	—	↑	-	

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標	達成	備考
01	休日当番医制や夜間急病診療所を円滑に運営する	-	-	-	-	-	-	-	-	
0101	館林市邑楽郡医師会、公立館林厚生病院との連携を図る	-	-	-	-	-	-	-	-	
	010101 定期的に打合せ会等の実施									
	010102 たてばやし健康ダイヤルを市民に周知									
	010204 救急医療の適正受診の啓発									
0102	館林地区消防組合との連携を図る	-	-	-	-	-	-	-	-	
	010201 救急態勢等に関する情報交換会等の実施									
	010202 救急病院等テレホンサービスの周知									
	010203 救急医療の適正受診の啓発									
事業名	地域医療対策事業・邑楽館林医療事務組合負担金・夜間急病診療所管理運営事業	年度別決算・予算額(千円)	785,182	828,980	836,483	939,358	916,168	889,181		
02	救急医療体制の充実を図る	-	-	-	-	-	-	-	-	
0201	公立館林厚生病院の安定した医師を確保する	-	-	-	-	-	-	-	-	
	020101 周産期医療を充実し、死亡者数の減少									
	020102 病診連携の充実									
0202	東毛・両毛での広域医療連携を推進する	-	-	-	-	-	-	-	-	
	020201 地域の広域医療連携連絡会の開催									
	020202 地域の医療の状況や救急態勢等に関する情報交換会等の実施									
事業名	地域医療対策事業・邑楽館林医療事務組合負担金	年度別決算・予算額(千円)	759,797	804,203	813,206	916,571	908,073	862,985		

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括
 ◇市民が休日に受診できるよう医師会に業務委託し、当番の医療機関を広報紙を通じ情報提供を行った。
 ◇休日歯科診療所を運営する歯科医師会に負担金を支出し、市民の休日の歯科診療の充実を図っているが、患者数の減少による収入減のため、令和2年度より負担金額を1,200千円から1,700千円に増額している。患者減少の理由は、一人ひとりの口腔ケアの意識の向上や、休休日診療を実施する機関が出てきたためと思われる。
 ◇地域の基幹病院である公立館林厚生病院に運営負担金を支出し、また、夜間急病診療所の運営とあわせ、一次と二次の医療機関の効率的な連携を図り、市民の利便性向上を図った。



総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等
 今後も、引き続き休日に受診ができるよう医師会・歯科医師会に働きかけ、市民にも情報提供を行っていく。利用者の状況や他の休日診療の状況を注視し、事業の継続を含め今後のありかたを考えて行く。

年度	R3
シートNo.	48
シート名	健康づくり

業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

第五次 総合計画	基本目的	Ⅲ 心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち
	施策目的 (上位目的)	09 地域全体で健康づくりに取り組むまちになる
	施策の方向	Ⅲ-09 市民の自主的な健康づくりを推進するため、自主活動グループへの支援や市民参加型の健康学習、健康相談など、地域全体で健康づくり活動を応援できる体制の構築を図ります。
		Ⅲ-09 心の健康を含めた健康づくりを推進するため、市民の健康意識の啓発を図るとともに、健康の維持や増進に関する場や機会などの情報提供と環境整備を充実します。
Ⅲ-09 疾病の早期発見や早期治療につなげるため、関係機関と連携を図りながら、健康診査や各種がん検診の重要性を啓発し、健康の維持や回復に対する意識の向上に努めます。		
		Ⅲ-09 健康診査の結果により指導や医療が必要な人に対して、きめ細かな保健指導を実施し、健康回復を支援するとともに、関係機関と連携して食事や運動などの生活習慣の改善のための指導を実施し、健康増進を図ります。

人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規	会計年度任用	再任用
	すべてのシートの合算	8.0	2.1	0.0
		26.0	13.4	1.0

款	項	目	事業名	予算額
4	1	3	健康づくり推進事業	1,916 千円
4	1	3	健康寿命延伸産学官プラットフォーム事業	3,434 千円
4	1	3	生活習慣病予防事業	114,103 千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
合計				119,453 千円

任務目的	指標	過去の実績					目標	達成	備考
		H28	H29	H30	R元	R2			
自ら健康管理や健康づくりに取り組む市民が多くなる	定期的に健康診断を受けている市民の割合(%)	81.2	-	79.6	-	-	↑	-	※市民活動調査結果
	健康の維持のために運動をしている市民の割合(%)	57.2	-	55.7	-	-	↑	-	
地域で健康づくり活動を実践している市民が多くなる	地域で健康づくり活動をしている市民の割合(%)	20.3	-	18.0	-	-	↑	-	

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標	達成	備考
01	疾病予防	三大死因死亡率(人口10万対)(人)	608.4	609.9	561.3	571.7	-	↓	○	※三大死因 悪性新生物・心疾患・ 脳血管疾患 ※死亡率 年間死亡数/人口× 100,000
0101	疾病の知識や予防法の普及	情報提供回数	146	134	144	111	18	↑	×	
010101	広報による情報提供									
010102	健康教室、講演会での普及啓発									
010103	健康まつり、健康展等のイベントによる普及啓発									
0102	健康意識の向上	疾病予防健康教室参加者数(人)	744	1,197	893	1,287	71	↑	×	
010201	健康相談の開催									
010202	個別保健指導の実施									
010203	疾病予防健康教室の開催									
事業名	健康づくり推進事業・生活習慣病予防事業	年度別決算・予算額(千円)	110,700	105,888	101,656	108,158	76,531	116,019		
02	疾病の早期発見・早期治療による健康管理	がん検診におけるがんの発見数(人)	17	14	24	27	13	↑	×	※がん検診 胃がん・大腸がん・肺 がん・子宮頸がん・乳 がん
0201	各種健康診査、がん検診の実施	がん検診受診者数(人)	18,308	18,014	17,732	17,989	11,913	↑	×	
020101	健診内容検討及び実施計画の作成									
020102	事前準備と委託事務									
020103	健診会場での管理業務									
020104	健診結果管理									
0202	健診受診率向上のための活動	がん検診初回受診者率(%)	24.7	24.1	23.0	24.5	21.3	↑	×	
020201	受診案内通知の作成									
020202	受診勧奨業務									
020203	未受診者への再勧奨業務									
0203	健診結果に基づく保健指導	がん検診精密検査受診率(%)	89	84.9	88.8	90.3	89.2	↑	○	
020301	結果説明会や健康相談の開催									
020302	要精検者、要受診者への保健指導									
020303	精検未受診者への受診勧奨業務									
事業名	生活習慣病予防事業	年度別決算・予算額(千円)	108,728	104,245	98,973	106,792	76,165	114,103		
03	健康づくり行動の普及啓発及び保健指導	生活習慣の改善を目的とした教室の受講者数(人)	893	1,330	1,568	1,524	290	↑	×	※内臓脂肪症候群の 割合 腹囲が基準を上回り、 さらに①脂質異常②高 血圧③高血糖のうち、 2項目以上の該当者数 /受診者総数
0301	情報提供による動機づけ支援	イベント等での情報提供者数(人)	5,371	5,375	5,527	4,303	0	↑	×	
030101	広報、イベントによる情報提供									
030102	健康手帳の交付及び活用指導									
030103	健康づくり計画の策定及び啓発									
030104	健康づくり推進員協議会の設置及び活動									
030105	健康づくり応援マイレージ事業による健康行動支援									
030106	健康寿命の延伸に向けた関係各課合同パンフレットの作成									
030107	産学官連携による健康寿命の延伸プラットフォーム活動									
0302	健康行動の維持を支援する保健指導	特定健診受診者における内臓脂肪症候群該当者の割合(%)	17.2	18.4	18.3	18.9	-	↓	×	
030201	健康教室での運動及び栄養の実践指導									
030202	個別相談、個別指導の実施									
030203	指導終了後の継続支援									
事業名	健康づくり推進事業・健康寿命延伸産学官プラットフォーム事業・生活習慣病予防事業	年度別決算・予算額(千円)	118,990	110,700	105,888	109,284	77,998	119,453		

04	健康づくり活動団体・グループの育成及び支援		健康づくり活動団体登録数	20(375)	18(340)	17(329)	17(324)	16(407)	↑	○	※活動団体登録数 団体数(活動人数)
	0401	健康づくり自主グループの育成	食生活改善推進員数(人)	72	76	80	82	72	↑	×	
	040101	健康大学の開催(食生活改善推進員の養成)									
	040102	自主グループ育成を目的とした教室の開催									
	040103	自主グループづくりのための支援									
	0402	自主活動団体への支援	自主活動団体への支援手段数	4	4	4	4	4	↑	○	
	040201	健康づくり活動団体登録事業									
	040202	活動団体への健康情報の提供									
	040203	活動内容の市民への紹介									
	040204	実践活動発表の機会を提供									
	040205	活動団体への事業委託及び連携事業									
040206	健康づくり活動団体表彰										
事業名		健康づくり推進事業・生活習慣病予防事業	年度別決算・予算額(千円)	110,700	105,888	101,656	1,018,158	76,531	116,019		

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括

◇健康寿命延伸に向けた取り組みとして、運動活動計を利用した健康づくり事業(たてばやし新8020運動)および野菜摂取を促すため事業「野菜摂取推進店登録制度(たてばやしベジ活応援店)登録制度」を開始し、「運動」と「食」に関する働きかけを強化した。

◇「館林市健康づくり計画(健康たてばやし21)3次」の中間評価の取りまとめを実施し、市民の健康課題の分析を行った。

◇新型コロナウイルス感染症の影響で各種健康診査、がん検診の受診者は例年を大きく下回ったが、追加検診の実施や、未受診者への受診勧奨および要精検者の100%精検受診に向けた働きかけを行った。

◇コロナ禍の中の自殺予防対策として、ホームページでの相談機関の周知を図った。



総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等

◇令和2年度新規事業(活動量計を利用した健康づくり事業・ベジ活応援店登録制度)の拡充に向けた事業を展開する。

◇「館林市健康づくり計画(健康たてばやし21)3次」の中間評価をもとにした事業を展開する。

◇疾病の早期発見、早期治療につなげるため、医療機関と連携し、検診受診につなげる。

◇新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度に開催を中止した健康教室を感染予防に考慮しながら開催し、市民の健康意識の向上につなげる。

◇コロナ禍でのこころの健康づくりとして、広報、ホームページでの情報発信や、講演会を開催する。また身近な相談役としてゲートキーパー養成講座を開催し、身近な相談役となるべき人材を育成する。

年度	R3
シートNo.	49
所属	保健福祉部 健康推進課 母子保健係
シート名	予防接種

業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

第五次 総合計画	基本目的	Ⅲ 心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち
	施策目的 (上位目的)	09 地域全体で健康づくりに取り組むまちになる 11 子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる
	施策の方向	Ⅲ-09 医師会など関係機関と連携し、疾病予防のための正しい知識や予防接種の必要性の普及啓発を図り、感染症などの疾病の予防やまん延の防止に努めます。 Ⅳ-11 母親と子の健康を守るため、予防を柱とした母子保健の充実を図るとともに、妊娠、出産から子育てまでの切れ目のない支援体制を整えます。

人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規	会計年度任用	再任用
	すべてのシートの合算	1.0	0.4	0.0

このシートの行政活動(手段)を遂行するための事業予算額 (R3年度予算額)			
款	項	目	事業名
			予防接種 事業
			事業
			事業
			事業
			事業
			事業
			事業
			合計

任務目的	指標	過去の実績					目標	達成	備考
		H28	H29	H30	R元	R2			
予防接種の必要性が理解される							-		

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標	達成	備考
01	適正に予防接種が行われる為の支援									
0101	安全な予防接種実施のための事前準備	研修回数	4	4	4	5	4	→	○	
	010101 実施前に医師会と実施検討・調整会議を開催									
	010102 実施前に1市5町での実施検討・調整会議を開催									
	010103 担当者研修の実施									
0102	安全な予防接種の実施	医師研修回数	2	2	3	3	2	→	○	
	010201 医師会員の個別予防接種理解徹底のためのマニュアル作成・配布									
	010202 乳児への予診票冊子の作成									
	010203 適正接種のために予診票配布時説明の徹底									
	010204 重複接種防止のために予診票再発行時の接種状況確認・説明の徹底									
	010205 医療機関での各種予防接種の実施									
	010206 請求時の適正接種の可否の確認									
0103	予防接種の重要性についての知識の普及	情報提供回数	16	18	19	26	45	→	○	
	010301 対象者に説明文をそえた個別通知を実施									
	010302 広報紙・ホームページ・メール配信事業等で予防接種実施内容を周知									
	010303 保護者が予防接種スケジュールを管理できる子育て支援モバイルサービス事業の活用									
	010304 転入者への窓口保健指導									
	010305 母子保健推進員への予防接種研修の実施									
0104	予防接種の接種勧奨	接種者数	27,456	27,170	26,806	26,622	33,867	→	○	
	010401 対象者への個別案内通知・予診票の作成・発送									
	010402 接種未実施者への保健師による接種勧奨の実施									
事業名	予防接種事業	年度別決算・予算額(千円)	207,327	203,911	199,384	196,691	226,852	216,771		

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括
 ◇感染症予防やまん延防止のため、定期予防接種事業の実施や任意予防接種費用助成等、事業の拡充が図られた。(B型肝炎、ロタワクチンの新規定期化。おたふくかぜ、大人の風しん予防接種費用の新規助成。)※令和2年度は妊婦、生後6か月～小学2年生のインフルエンザ予防接種費用助成の追加実施。
 ◇市広報やホームページ、子育て支援モバイルサービス等を活用し、予防接種の重要性や知識普及のための情報提供及び個別通知や電話指導で定期的な接種勧奨を行った。このため、接種者数が増加し、感染症の発生やまん延防止に努めることができた。
 ◇館林市邑楽郡医師会の協力・指導により広域的な連携を図り、安全に接種することができた。



総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等
 ◇新興・再興感染症等の予防やまん延防止の対策として、新しい生活様式への取り組みが求められていることから、安全かつ適正な予防接種が実施できるよう、関係機関と連携を図りながら推進していく。
 ◇市民への感染症予防対策への情報提供を積極的に行うとともに、任意予防接種については、保護者の経済的負担を軽減できるよう、助成事業の拡充に努め、さらなる推進を図る。

年度	R3
シートNo.	50
シート名	母子保健

業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

第五次 総合計画	基本目的	IV 子どもたちが健やかに成長できるまち
	施策目的 (上位目的)	11 子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる
	施策の方向	IV-11 母親と子の健康を守るため、予防を柱とした母子保健の充実を図るとともに、妊娠、出産から子育てまでの切れ目のない支援体制を整えます。

人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規	会計年度任用	再任用
	すべてのシートの合算	9.0	4.9	0.0
		26.0	13.4	1.0

款	項	目	事業名	予算額
4	1	3	母子保健対策事業	67,037 千円
4	1	3	妊娠・出産包括支援事業	21,038 千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
合計				88,075 千円

任務目的	指標	過去の実績					目標	達成	備考
		H28	H29	H30	R元	R2			
健やかに育つ子どもが多くなる	0~14歳の死亡率 (人口千対)	0.11	0.44	0.34	0.00	-	-	※0~14歳の死亡数/0~14歳の人口	
安心して妊娠・出産できる市民が多くなる	合計特殊出生率 (人)	1.34	1.35	1.24	1.19	-	-	※15歳から49歳までの女性一人当たりの出生数	

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標	達成	備考
01	母性並びに乳幼児の健康の保持増進									
0101	疾病の早期発見	乳幼児健診受診率	96.8%	98.1%	98.0%	98.2%	98.0%	↑	○	4か月児健診、10か月児健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診
	010101 妊婦健康診査の受診勧奨(健診費助成)									
	010102 乳幼児健康診査の実施									
	010103 乳幼児発達相談の実施									
	010104 新生児聴覚検査の受診勧奨(検査費用の助成)									
	010105 産婦健康診査の受診勧奨(健診費の助成)									
0102	歯科保健の推進	3歳児健診う歯保有率	12.7%	15.0%	16.3%	10.9%	14.9%	↓	×	コロナの影響あり
	010201 妊娠期からの歯科検診・相談の実施									
	010202 乳幼児健診での歯科検診・歯みがき指導の実施									
	010203 予防処置(1歳6か月児・2歳児へのフッ化物塗布)の実施									
	010204 虫歯予防の啓発普及(よい歯のコンクール)									
0103	妊娠・出産・育児の知識の普及	健康教育受講者延人員	6,744	5,954	2,677	2,660	2,338	→	×	コロナの影響あり ママパパ学級、祖父母教室 依頼講習会等
	010301 妊娠期の健康教育の実施(ママパパ学級)									
	010302 栄養教室(離乳食、幼児食、キッズ(3~6歳児)クッキング)の開催									
	010303 事故防止・救急救命法講習会の実施									
	010304 乳幼児健診時の保健指導・栄養指導									
	010305 広報による情報提供(保健センターだより等)									
0104	妊娠・出産・育児に関する相談支援	健康相談・電話相談実施延人員	6,744	5,954	4,116	4,932	5,502	→	×	コロナの影響あり
	010401 母子健康手帳の交付及び妊婦への保健指導の実施									
	010402 母乳育児相談の実施									
	010403 地区公民館・窓口等での健康相談の実施									
	010404 随時の電話相談の実施									
0105	支援を必要とする対象者への保健サービスの提供	支援者のための相談実施延人員	292	302	352	280	137	→	×	コロナの影響あり
	010501 ハイリスク妊婦・乳幼児への訪問指導の実施									
	010502 乳幼児発達相談による育児支援									
	010503 乳幼児健診事後相談(おひさま広場)の実施									
	010504 健診未受診者への訪問指導の実施									
	010505 県機関との連携による育児支援(巡回相談・マザー&チャイルド等)									
	010506 支援ケース検討会議の開催及び参加									
	010507 不妊治療費の助成及び窓口相談									
	事業名	母子保健対策事業	年度別決算・予算額(千円)	68,123	60,701	59,355	57,273	56,354	67,037	
02	地域での妊娠・出産・子育て支援の充実									
0201	支援者の育成	母子保健推進員研修会参加率	76.4%	75.8%	73.3%	69.6%	83.4%	→	○	
	020101 母子保健推進員への研修会の実施									
	020102 母子保健推進員OB会への活動支援									
0202	地域での母子保健推進員活動の実施	こんには赤ちゃん事業実施率	91.9%	93.1%	89.0%	96.9%	80.6%	↑	×	コロナの影響あり ※訪問件数/抽出者
	020201 こんには赤ちゃん事業(乳児全戸訪問事業)の実施									
	020202 健診の受診勧奨のための家庭訪問の実施									
	020203 市の保健師との連携による育児相談支援の実施									
0203	関係機関との連携による子育て支援	関係機関との連携延件数	553	730	698	824	829	→	○	※他機関からの情報提供、他機関への情報提供の延件数
	020301 幼稚園・保育園への情報提供									
	020302 子育て支援会議への参加									
	020303 教育支援委員会への参加									
	020304 医療機関、児相等の関係機関との協働支援の実施									
0204	地域での妊娠・出産・子育て支援の啓発									
	020401 マタニティプレートの作成・配付									
	020402 広報等による啓発(保健センターだより等)									
	事業名	母子保健対策事業	年度別決算・予算額(千円)	68,123	60,701	59,355	57,273	56,354	67,037	

03	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援										
	0301	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の充実	支援メニュー数	6	6	6	7	8	↑	○	※妊産婦全戸訪問 子育て支援モバイルサービス 産前産後サポーター派遣 産後ケア・祖父母教室 子育て応援冊子配布・子育てサロン、ボイスビズ
	030101	母子保健コーディネーター事業									
	030102	産前産後サポート事業									
030103	産後ケア事業										
	事業名	妊娠・出産包括支援事業	年度別決算・予算額(千円)	15,378	13,783	17,718	15,831	16,848	21,038		

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括

◇母子保健事業、妊娠・出産包括支援事業において、母子の健康保持増進及び妊娠・出産・子育ての切れ目ない子育て支援を行い、乳幼児健診の受診率は高い値を推移している。う歯保有率はR2年度は、1歳6か月児健診では低下しているが、3歳児健診では増加した。新型コロナウイルス感染症により在宅時間が増える等の生活リズムが変化したことも一因であると考えられる。

支援を必要とする対象者へのサービスは、新型コロナウイルス感染症予防対策のため人数制限を設けたことにより、やや低下した。虐待・養育支援家庭など、より支援が必要なケースへの訪問・電話相談は増加している。

◇産婦健康診査の費用助成・子育てサロンの開始、さらに妊娠期からのセルフプランの作成を行い、産後うつや新生児への虐待予防等の支援体制を構築し、母子保健コーディネーターを中心とした利用者支援事業を充実させるとともに、子育て世代包括支援センターの機能強化を行った。



総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等

◇母親と子の健康を守るため、予防を柱とした母子保健の充実を図るとともに、妊娠・出産から子育てまで切れ目ない支援を行っていく。虐待・養育支援家庭など、より支援が必要なケースへの支援を継続していく。

◇子育て世代の多様なニーズに対応できるよう、関係機関との連携を行いながら、きめ細かな支援体制の充実を図る。

◇双子手帳の交付や多胎妊産婦交流事業を開催し、多胎子育て支援の充実を図る。

◇産婦健康診査の費用助成(産後1か月分)を追加、さらに産後ケアの利用期間を1か月延長し、産婦に対する支援の拡充を行う。

年度	R3
シートNo.	51
所属	保健福祉部 健康推進課 新型コロナウイルスワクチン接種対策係
シート名	新型コロナウイルスワクチン接種対策事業

業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

第五次 総合計画	基本目的	Ⅲ 心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち
	施策目的 (上位目的)	09 地域全体で健康づくりに取り組むまちになる 10 適切な医療を受けることができるまちになる
	施策の方向	Ⅲ-09 医師会など関係機関と連携し、疾病予防のための正しい知識や予防接種の必要性の普及啓発を図り、感染症などの疾病の予防やまん延の防止に努めます。

人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規 4.0	会計年度任用 2.0	再任用 1.0
	すべてのシートの合算	26.0	13.4	1.0

款	項	目	事業名	予算額
4	1	5	新型コロナウイルスワクチン接種事業	226,564 千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			合計	226,564 千円

任務目的	指標	過去の実績					目標	達成	備考
		H28	H29	H30	R元	R2			
新型コロナウイルス感染症のまん延を防止するための予防接種を行う							-		

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標	達成	備考
01	市民へ新型コロナウイルスワクチン接種を実施する									
0101	円滑なワクチン接種を実施する	実施する	-	-	-	-	-		-	
010101	人的体制を整備する									
010102	接種計画を策定する									
010103	全庁的の人員体制を確保する									
010104	会計年度任用職員を確保する									
0102	接種実施体制の調整	調整実施数	-	-	-	-	-		-	
010201	館林市邑楽郡医師会との調整・契約									
010202	個別医療機関との調整									
010203	医療機関以外の接種会場を検討する									
010204	必要な医療従事者を確保する									
010205	必要なワクチンを確保する									
010206	ワクチン保管冷凍庫を設置する									
010207	医療機関等のワクチン分配量を調整する									
0103	接種券を郵送する	実施する	-	-	-	-	-		-	
010301	発送計画を策定する									
010302	接種券を印刷する									
010303	接種案内を準備する									
0104	集団接種会場を運営する	2会場運営	-	-	-	-	-		-	
010401	集団接種会場を設営する									
010402	運営マニュアルを策定する									
010403	人的体制を整備する									
0105	相談体制を確保する									
010501	コールセンターを設置し問い合わせ等に対応する									
010502	市民へ適切な情報を提供する									
010503	接種予約受付体制を整備する									
0106	接種記録を適切に管理する									
010601	予防接種台帳システムに記録する									
010602	予診票を適切に保管する									
事業名	予防接種事業	年度別決算・予算額(千円)	-	-	-	-	9,180	226,564		

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括
新規事業



総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等
現在、接種が進められている新型コロナワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果があり、また、重症化を予防する効果も期待されています。効果の持続期間や感染を予防する効果についても、時間の経過、研究機関での検証を踏まえた上で、今後の方針を定めたいと思います。